

## 18. 室内プールから水着でグランドへ避難した人たち

A. M. 53歳 学校職員 大田区在住

- そのときどこに誰といましたか。

横浜市にある職場で、7階建免震ビルの2階の事務室にいました。職場のメンバー4人と一緒でしたが、同じフロアには20人以上の職員がいました。

- そのときとった行動は？

職務上、避難経路の確保、情報確認、誘導を行いました。余震が大きかったので、皆、かなり動揺していましたが、私自身は揺れ自体には恐怖は感じませんでしたので、これほどの大きな震災になるとは思ってもみませんでした。

館内には、事務室や教室以外に、レストラン、保育園、スポーツクラブなどがあり、会議出席の海外からの来訪者、教職員・学生、散歩で立ち寄った近所の年配者方がいらっしやいました。全員、建物に隣接するグランドに避難したのですが、寒空にコートを着ない保護者や園児、さらにプールから濡れた水着で飛び出した人々、中には年配者もおられました。

- 自宅にはどのように帰りましたか。

帰宅許可が出た後、少し様子を見てから17:30過ぎに、帰宅経路が同じ同僚の車に乗り、途中、コンビニに寄り、乾電池、水、夕食を購入しました。田園調布18:00頃はいつもより歩道を歩く人が少し多いという程度であったと思います。

- 自宅に被害はありましたか。

7階建マンション6階の自宅は、重いテレビが3センチほど動いただけ。猫たちは、ソファの下に潜り込んでいましたが、私を見ると安心してか定位置に寝ころびました。

- 最後にひとこと。

携帯は役立たず。テレビ各局は同じ情報の繰り返し。人との付き合いが一番大切。

2011年7月7日